

難削材に対応した高精度・ダメージレス 微細切断加エシステムの構築 他

中央試験所 高野 朋幸

精密切断が可能な唯一の切断加エシステム





- 1. 背景・・研究者の要望から
- 2. 目的・・・高度化する研究ニーズへの対応
- 3. 内容・・・低コストのシステム構築(企画・設計・組立まで)
- 4. 結果・・・システム評価
- 5. まとめ・・・今後の展開
- 6. その他・・・これぞ技術職!

(身近なところにアイディアがある次回?)



2016年2月頃 T企業から問い合わせ

純二ッケルとは?



材質:純二ッケル LC-Ni(Ni201)、

比重:8.88(銅と同じくらい)

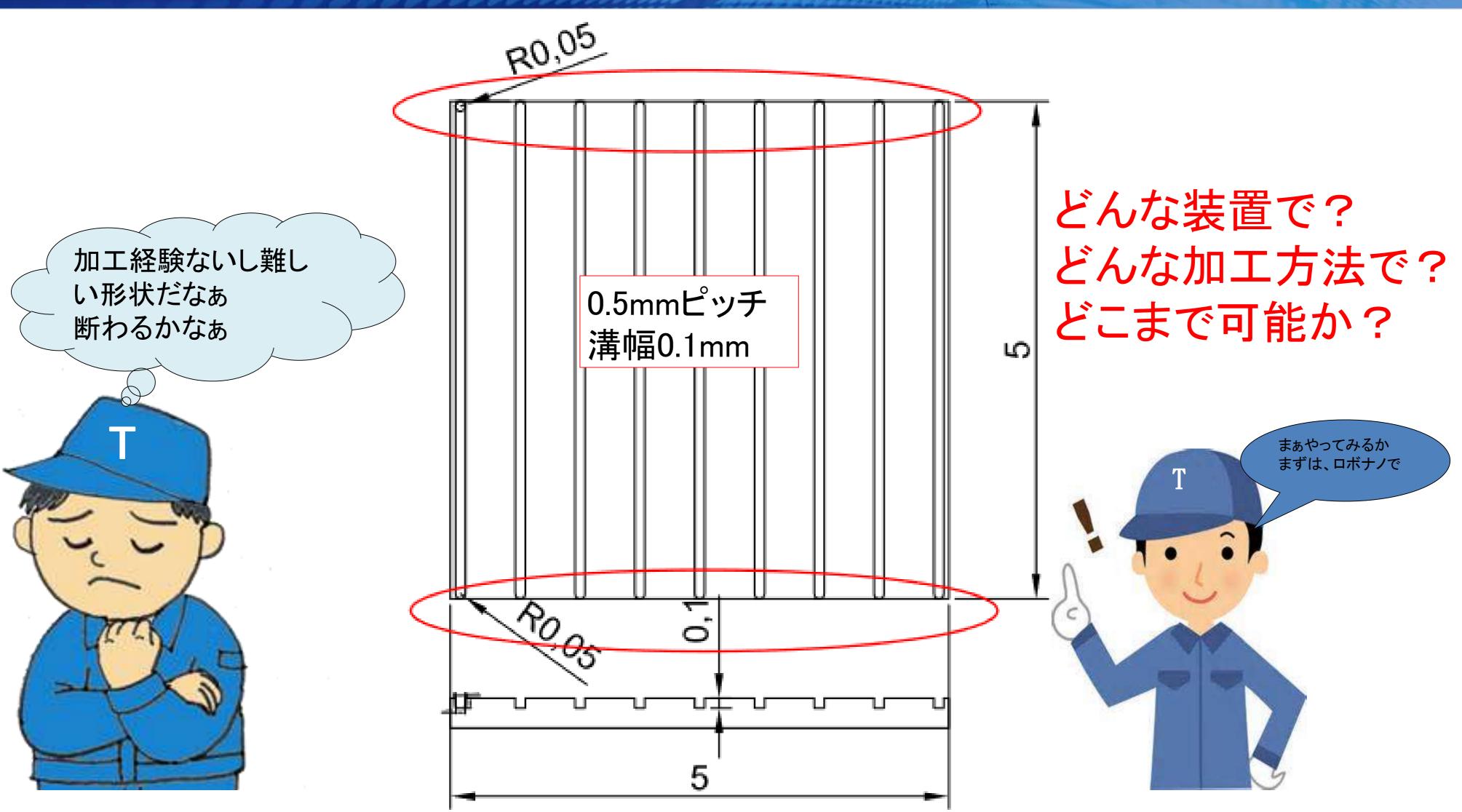
融点:1435~1446°C、(コバルトに近い)

ビッカース硬度:HV110程度

(チタン合金HV110~150にちかい)

用途: 耐食性に優れ、電気抵抗が小さいため、 携帯電話の端子、各種電池部品、車載電 装部品、高温(315°C以上)における安定性 があり、315°C以上で使用される機器など



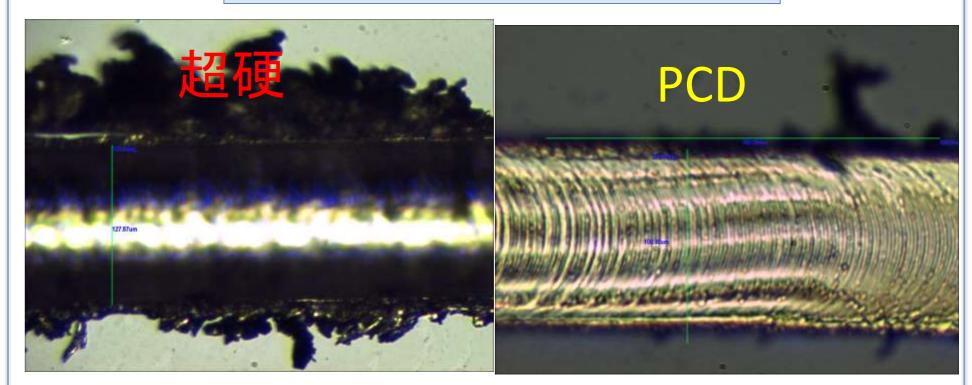


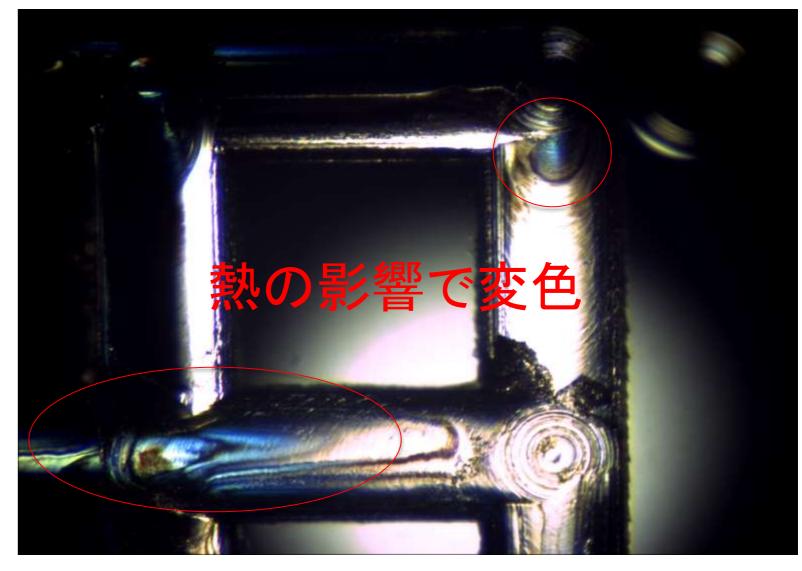


ロボナノ



加工上面から見た画像

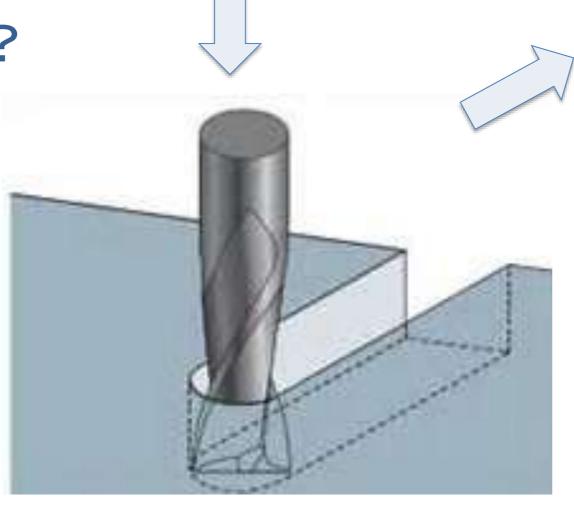




どんな加工方法①で?

どんな装置で?

【フライス加工】 工具は超硬エンドミル PCDエンドミル



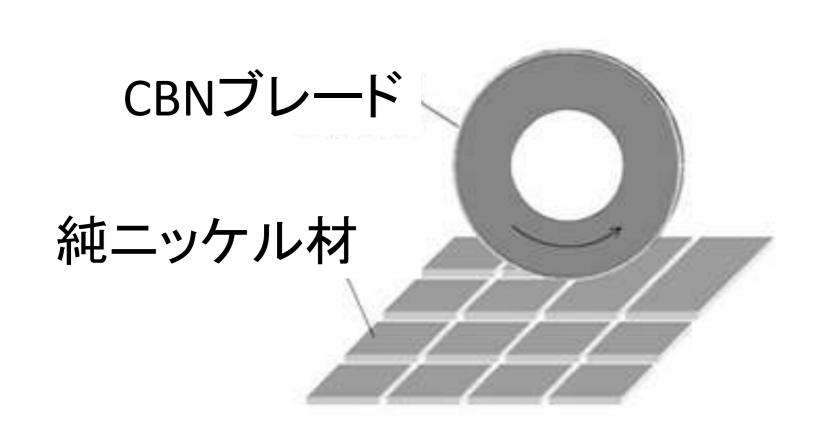


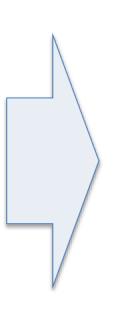
どんな加工方法②で?

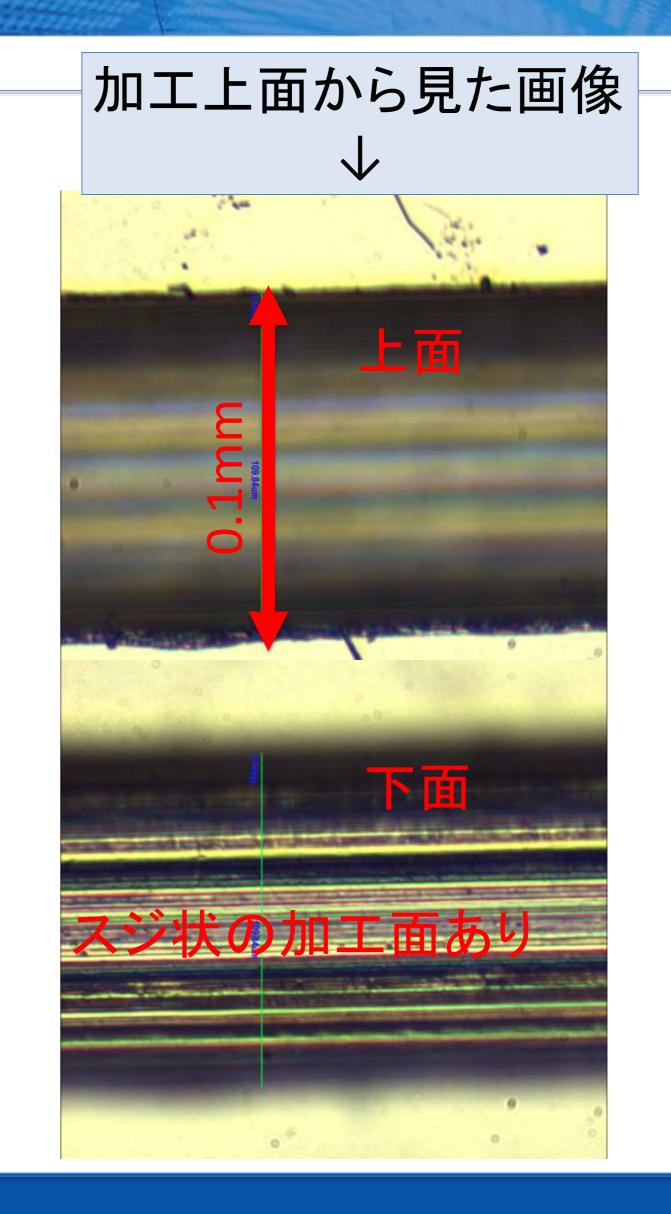
【ダイシング加工】

エ具:ブレード

材質: CBN(多結晶立方晶窒化ホウ素)









どこまで可能か?



ロボナノでは、CBN工具によるダイシング加工が良好だった・・・。 量産は× 要望の3割程度?ざぁんねん

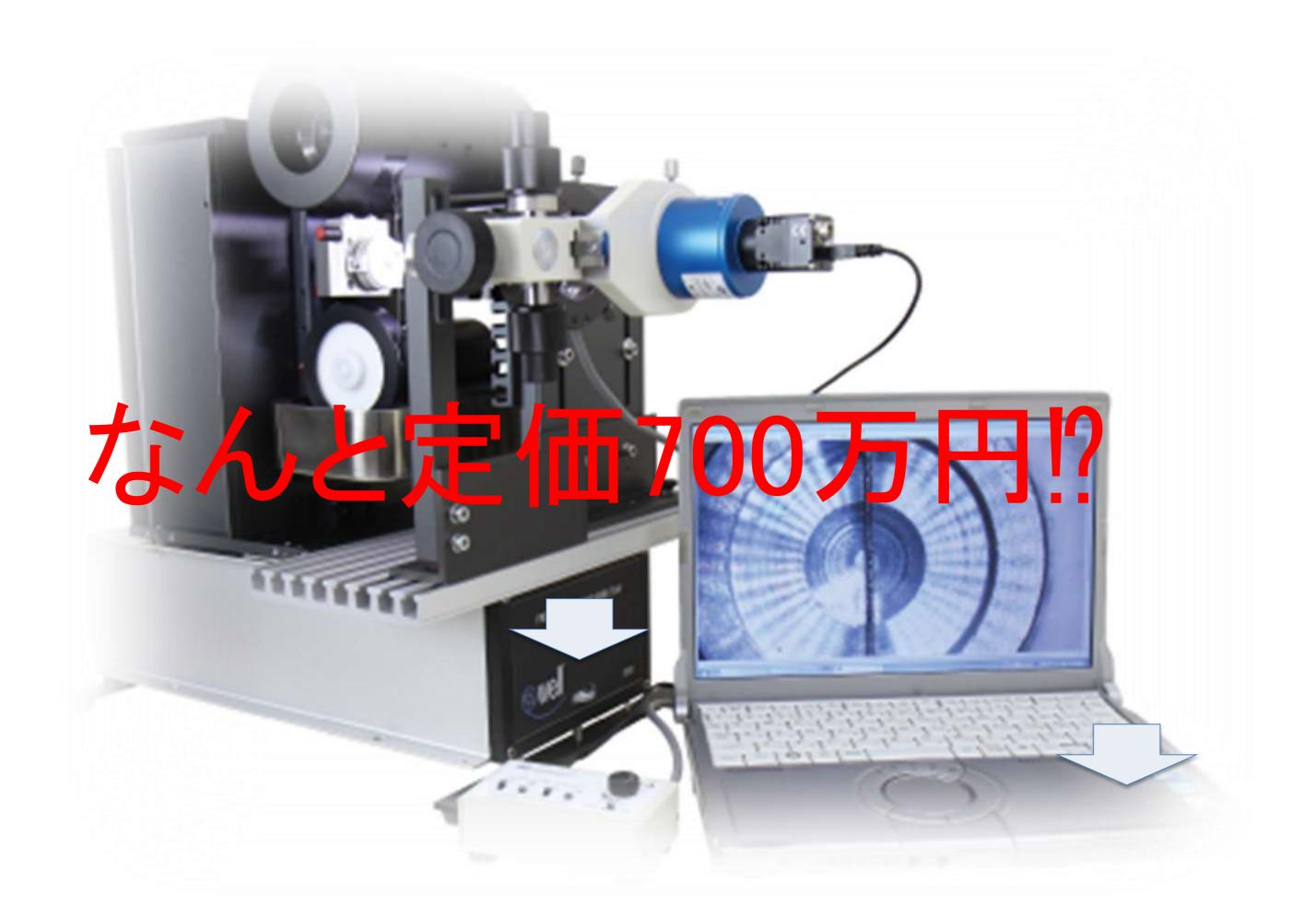
ロボナノと何か前加工装置とコラボできればいけない?



機械加工経験と企業とのネットワークから考えた発見! ちょうどそのころ中試にデモ機が・・・



【参考装置】ダイヤモンドワイヤーソー





2. 目的・・高度化する研究ニーズへの対応

【慶應-神奈川ものづくり実証・評価センター】

学内の分析・評価・加工のサポート以外に、学外(企業)の研究者対応がメイン。

研究者が装置を利用するプロセスに必要なことは?

分析器機器の測定や工作機械の加工をしやすくする為に試料の前処理(加工)が必要。

【研究用試料】

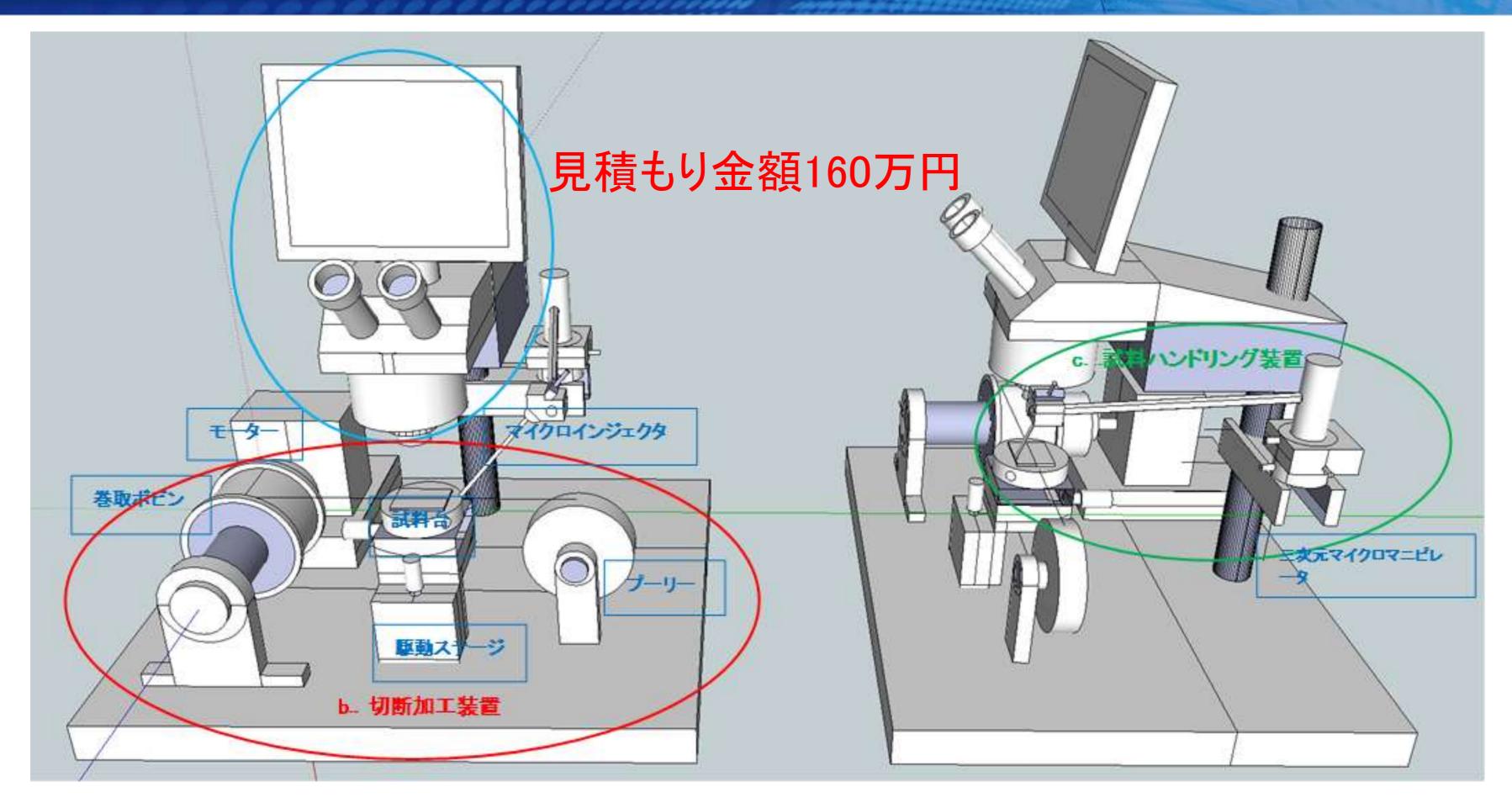
- ・軽量・高強度・耐熱性の高い素材で難削材 (石英ガラス、フッ化カルシウム、純ニッケル・純アルミ等)
- 多層構造(薄膜系や高分子等)で複雑化(試料サイズが微細)

このような高度かする研究ニーズ対応として ↓3つの課題に取り組んでシステム構築を行うこと。

- ①試料の物性に影響がないこと(ダメージレス)
- ②試料サイズの微細化による高精度な加工が必要であること(高精度微細加工)
- ③試料製作時間の短縮(加工の高効率)



3. 内容 - - 低コストのシステム構築(企画・設計・組立)



【申請時の構成】

a. 計測・観察システム、b. 微細切断加エシステム、c. 試料ハンドリング装置



3. 内容 - 低コストのシステム構築(企画・設計・組立)

補助決定金額80万円により変更



【変更後の構成】

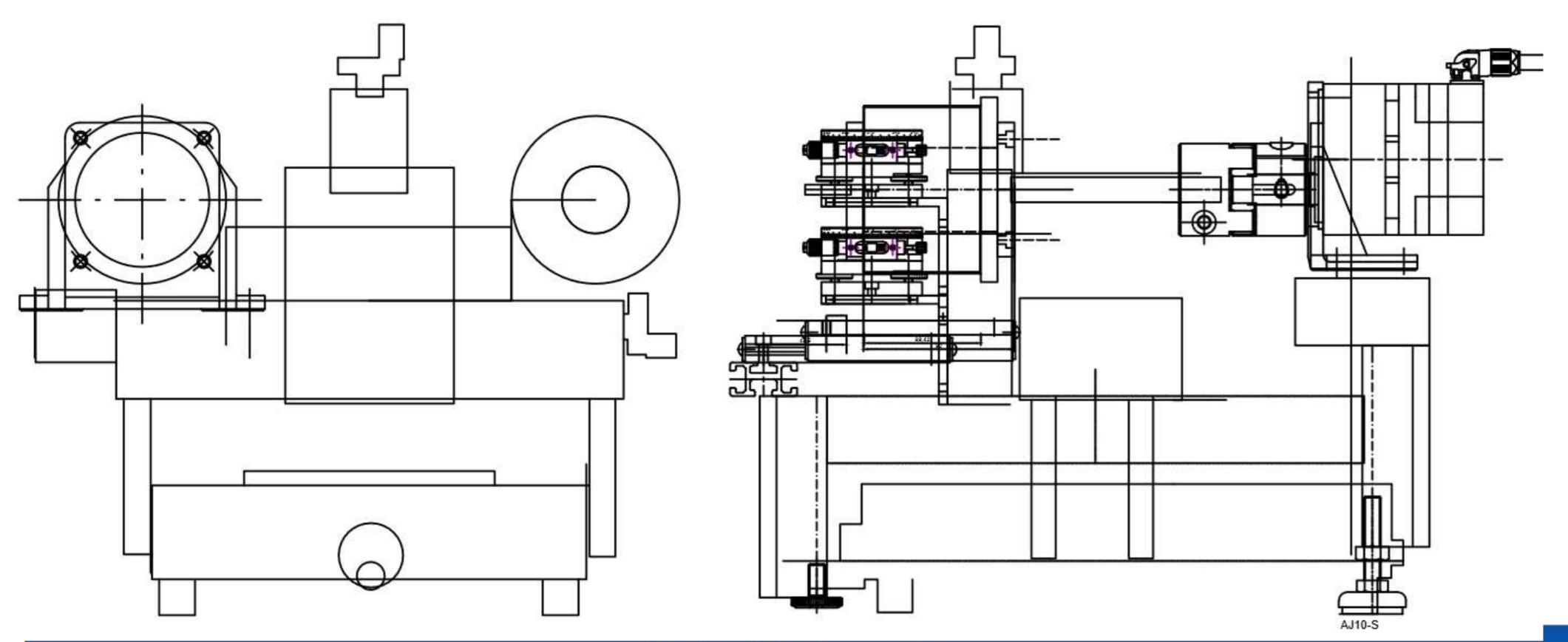
- ①実体顕微鏡(15倍~90倍)搭載の計測システム
- ②長さ20mのダイヤモンドワイヤー巻取り駆動システム
- ③3軸自動ステージ(NCプログラム駆動)+試料台3軸の6軸精密ステージによる高精度位置決めシステム



3. 内容・・低コストのシステム構築(企画・設計・組立)

【設計】

選定部品のCAD図と自作パーツの組立と配置が確認できるよう図面化した。

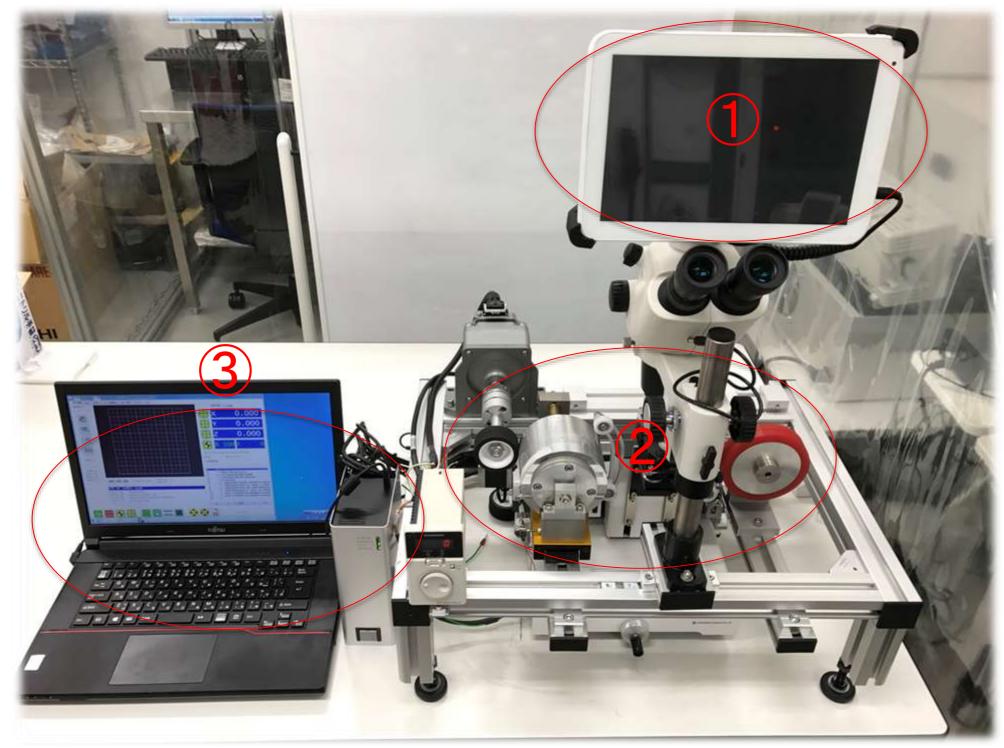




3. 内容 - 低コストのシステム構築(企画・設計・組立)

仕様

(型式:DWCS-00-TT)



型式	DWCS-00-TT
①観察・計測システム	•倍率:15x~90x •焦点距離:55mm、 •測定(距離•角度•直径)
②ダイヤモンドワイヤー 駆動システム	-ワイヤー径φ 0.1mm~0.5mm -φ 0.1の最大荷重 31.4N -巻取り最大距離 20m -駆動回転数 50~1500rpm
③試料加工位置決めシステム	 取付けステージφ 60mm 最大取付荷重 0.5kg 回転軸0~360°(分解能1°) αβ傾斜軸(±2°) NC制御可 X軸:70mm Y軸:100mm Z軸:40mm(分解能0.78μ m) 最大送り速度15mm/s(F900)

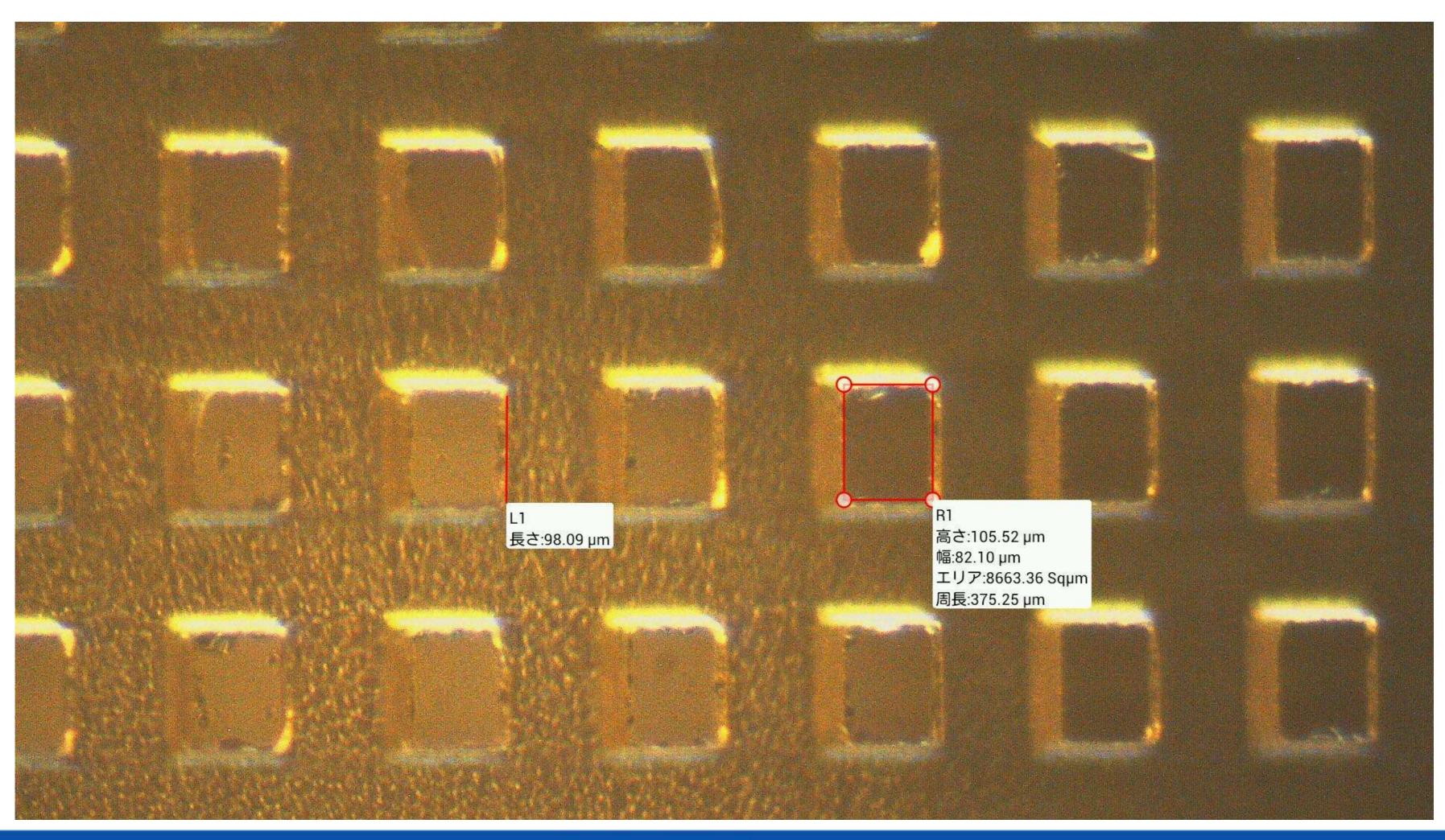


①純二ッケル加工



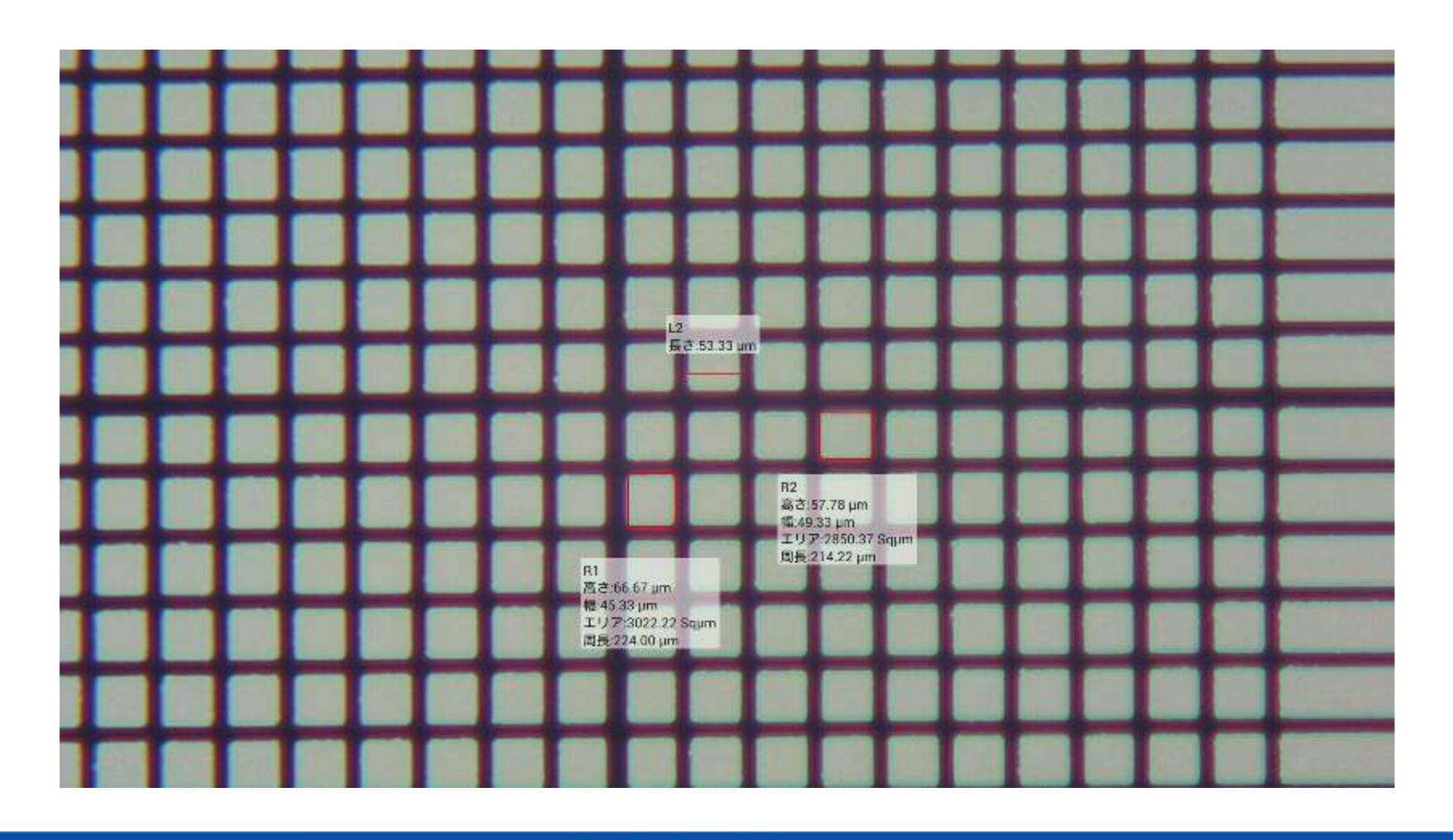


参考②石英ガラスの加工(ロボナノでエンドミル加工)





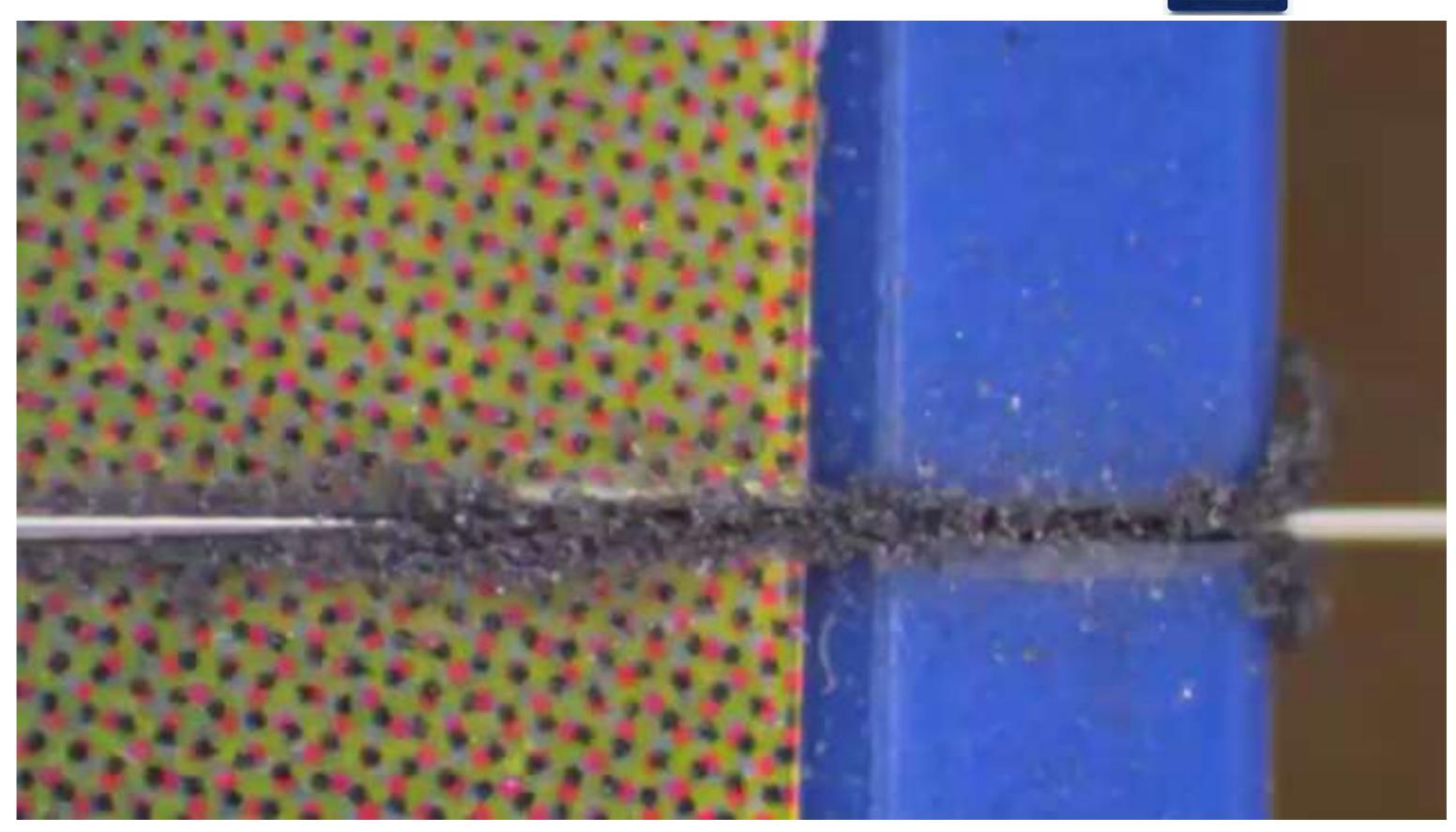
②石英ガラスの加工(今回のシステムで加工)





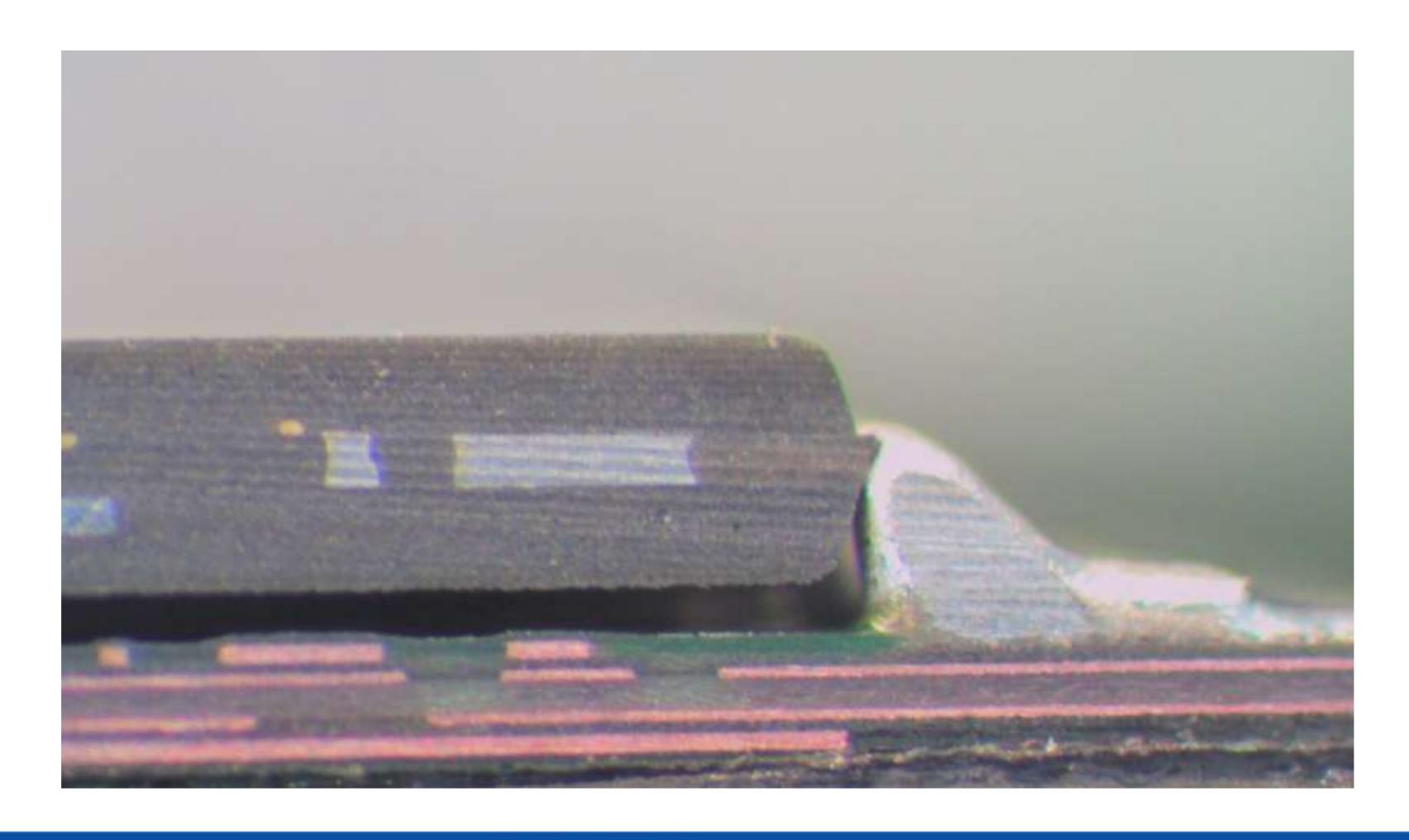
③SD力一ド(複合材)加工





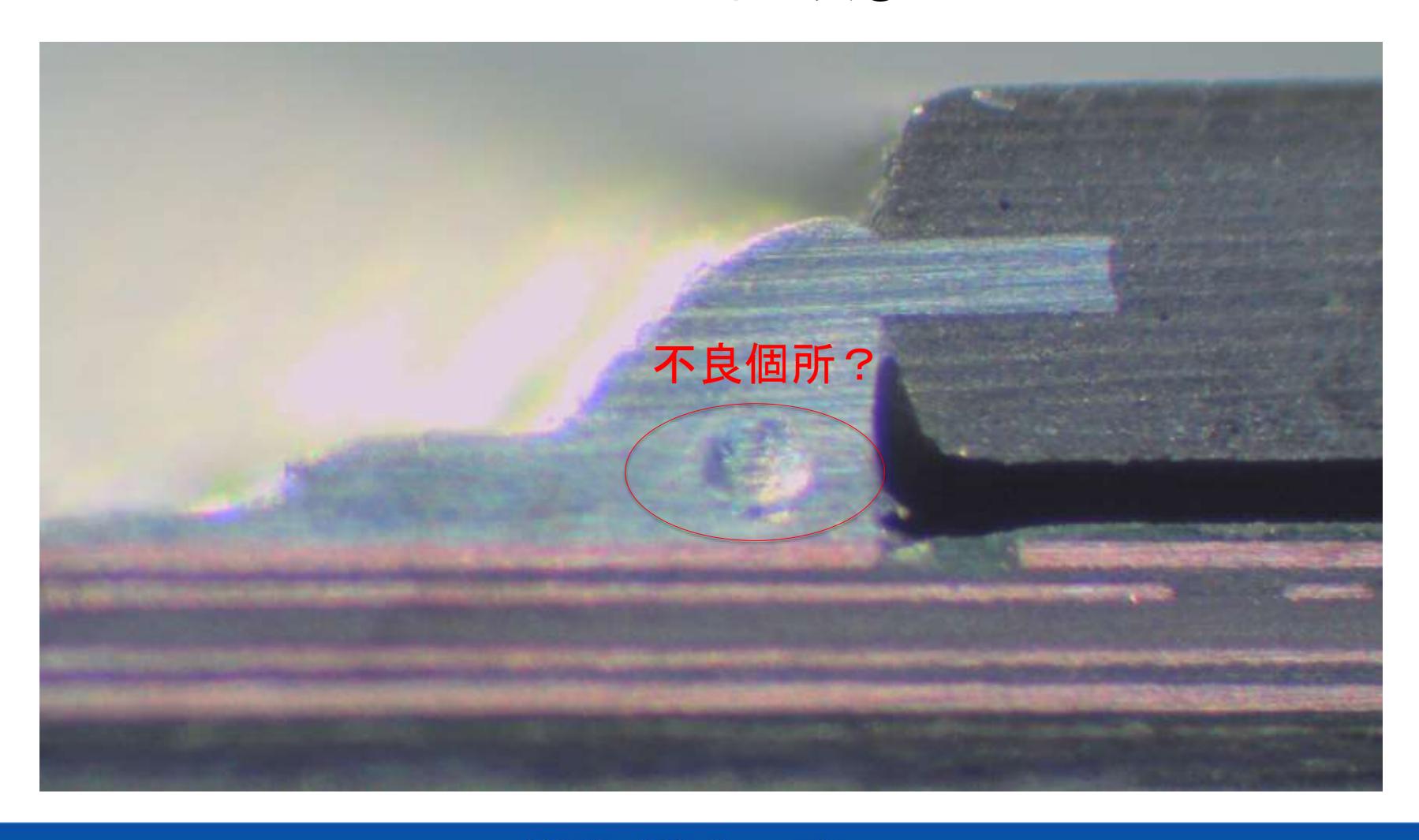


SDカード断層写真①



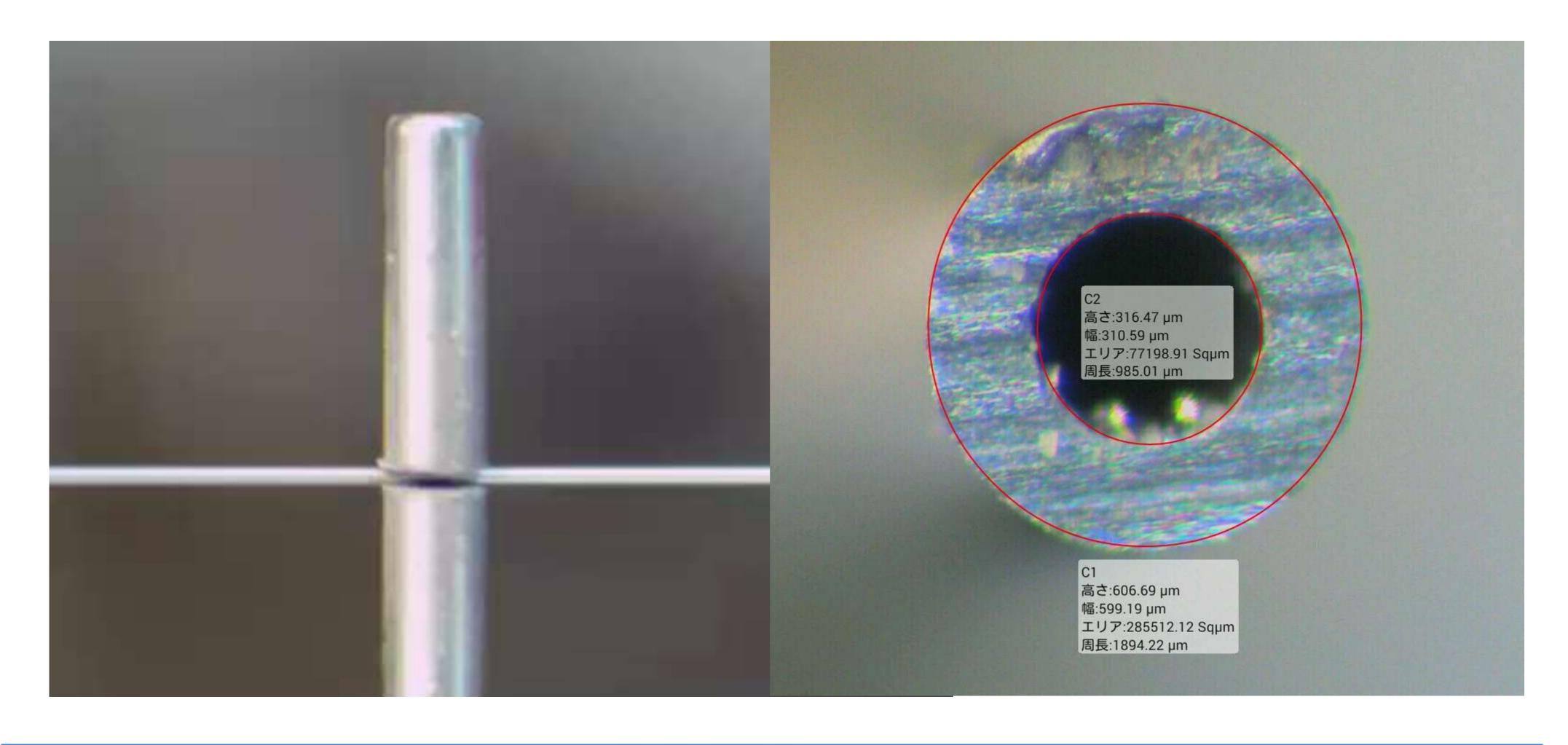


SDカード断層写真②





4シャープペンシルの先端加工





- ・難削材試料して、①純ニッケルと②石英ガラス(φ 30mm厚み5mm)の溝加工を行った結果、表1のような条件で加工の有無がわかった。
- ・③のような複合材の加工結果から、熱影響も少ないダメージレス加工が実現できた。
- ④の微細部品の切断加工においても良好であり高精度な加工ができた。

切削速度Vc=□×D b×N b/1000

Nb:モータ回転数

Db:ドラム直径φ100mm

表1. 加工条件パラメータ

	純Ni					
回転数(rpm)						
テーブル送り速度Vz (mm/min)	0.05	0.1	0.5	0.1	0.05	0.5
切削速度Vc(m/min)						
加工状態	良好	良好	断線	断線	良好	断線



5. まとめ・・・今後の展開

【苦労したこと】

- ・部品点数が多く自作冶具の作製に時間がかかった。
- ・部品組立は、設計図通りにいかず実際に調整が必要だった。
- ・テスト加工の際、何度もワイヤーが切断してしまい巻き付けが大変たった。

【成果】

- 今回のシステム構築により難削材の切断加工が可能となった。
- 研究ニーズに対応できる技術の向上につながった。

【今後の展開】

- •様々な試料で加工条件の蓄積を行いたい。
- ・システムの完成型をねらい改良したい。



- ・H28年度学事振興資金共同研究補助により進めることができました。
- ・共同研究にご協力頂いた小向様、吉田様、李様

ありがとうございました。